

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
声優・演劇科											
ヴォーカル I											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	加藤 修子			実務 経験	有	職種	声楽家				
授業概要											
様々な種のヴォーカルに取り組み、演技者に必要な音感・リズム感・表現力を養います。											
到達目標											
身体全身を使った声のためのトレーニングを積み重ねることにより、これまで、口先や喉を多用してきた声、不自然に作った声、ただがむしゃらに出してきた声、音楽にのって自己満足で歌ってきた声、自信を失くしたか細い声、等がどのように変化したかを自覚することができる。さらに、課題曲の発表を通して、作品表現としての自分の歌声を、客観的に捉えられるようになり、自己分析できるようになる。											
授業方法											
「身体全身が楽器である」というテーマに基づき、身体の支え、中心軸、正しい姿勢、鍛える筋肉、緩める筋肉、鼻腔の開放、共鳴の位置、口の開け方、より深い腹式呼吸のための様々な呼吸法のトレーニングを積み重ねていく。それを基本にして具体的な発声練習に取り組み、様々なジャンルの曲を用いて実践する。そして、自分を解放して伸び伸びとした響きのある声を育てることを目指す。											
成績評価方法											
授業に取り組む姿勢、音程・リズム・理解度(表現力)、また授業内での発表について総合的に評価する。											
履修上の注意											
各自が真剣に自分の能力を100%伸ばすことに集中し、その成果を上げるために環境づくりを重要視し、お互いを認め合い、高め合える場とすること。共働で課題曲を仕上げていくために遅刻をしない、無断で休まないといった基本的なことに留意すること。学生自身が今後 社会で自立する事を意識した授業への取り組み姿勢を要求する。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
必要に応じて楽譜・資料を配布する											
回数	授業計画										
第1回	課題曲の仕上げ (1)										
第2回	課題曲の仕上げ (2)										
第3回	場当たり										

2020年度 日本工学院八王子専門学校

声優・演劇科

ヴォーカル I

第4回	課題曲の仕上げ (3)
第5回	成果発表
第6回	発表を振り返る
第7回	歌唱力の強化 (1)
第8回	歌唱力の強化 (2)
第9回	歌唱力の強化 (3)
第10回	歌の発表